

第70回全東北ピアノコンクール要項

【事業概要】

1. 事業の名称 第70回全東北ピアノコンクール
2. 主催 東北放送株式会社
公益財団法人東北放送文化事業団
公益財団法人河北文化事業団
3. 後援〔予定〕 文化庁・宮城県教育委員会・青森県教育委員会・岩手県教育委員会・秋田県教育委員会・山形県教育委員会・福島県教育委員会・仙台市教育委員会・公益財団法人宮城県文化振興財団・公益財団法人仙台市市民文化事業団・公益社団法人日本演奏連盟・株式会社河北新報社
＜各後援申請中＞
4. 予選 開催日時 2026年5月24日（日）午前10時～午後5時予定
会場 宮城野区文化センター パトナホール（コンサートホール）
入場者 300名（入場無料）
出場者 30名想定
5. 本選 開催日時 2026年6月28日（日）午後1時～5時予定
会場 宮城野区文化センター パトナホール（コンサートホール）
入場者 300名（入場無料）
出場者 予選を通過した7～8名

【募集要項】

1. 参加資格 東北地方にゆかりのある者。
 ※ただし、事務局がプロと認める者および大学の専門課程で指導経験がある者については参加を認めない場合がある。

2. 予選課題曲

【A】【B】から1曲ずつ、合わせて2曲を演奏

【A】 バッハ： 平均律クラヴィーア曲集 第1巻または第2巻から任意の1曲 (前奏曲とフーガ)	【B】 ショパン：エチュード集 Op.10 ショパン：エチュード集 Op.25 モシュコフスキ：15のエチュード集 Op.72 以上の中から任意の1曲
---	--

- *演奏は暗譜・公開で行います。
 *申込み後、予選の曲目は変更できません。

3. 本選課題曲

【A】は必須とし【B】から1曲選び、合わせて2曲を演奏。

【A】 シューベルト： 即興曲変ロ長調 Op.142-3 (全て繰り返すこと)	【B】 ショパン： バラード 第1番 ト短調 Op.23 バラード 第2番 ヘ長調 Op.38 バラード 第3番 変イ長調 Op.47 バラード 第4番 ヘ短調 Op.52
--	---

- *演奏は暗譜・公開で行います。
 *本選の曲目は、本選の開催日の1ヶ月前まで変更できます。

4. 申し込み方法 出場希望者は申込書をホームページ (<http://tbc-sendai.co.jp>) からダウンロードして記入し、顔写真(胸から上)を添えてコンクール事務局までメールで送付。
 ※顔写真は本選に進んだ方の紹介(チラシ等)に使用します。
 宛先：piano@tbc-sendai.co.jp
 受付期間：2025年11月1日(土)～2026年3月31日(火)

5. 参加料 20,000円

6. 問い合わせ先 〒980-0803 仙台市青葉区国分町3丁目1-1
 東北放送事業部「全東北ピアノコンクール」係
 TEL 022-714-1022 (平日 11:00～16:00)

【審査基準・審査方法・審査員名簿】

1. 審査基準

予選・・・ バッハ平均律クラヴィーア曲集による課題Aで多声音楽の表現と、エチュードによる課題Bで基礎的な技術とその応用による表現力を評価する。

本選・・・ 課題Aのシューベルトでは個々の変奏の特色を活かしながら、構成力と様式感を評価し、課題Bではショパンの作品を通して、音楽的知識に基づいた想像力と表現力の豊かさを評価する。

2. 審査方法

予選・・・ 一般公開審査。審査員3名が100点満点で採点し、合計得点上位者およそ7名から8名を選出、本選出場者を確定する。

※予選審査のみ、審査員による講評メモあり

ただし個別の内容についての問い合わせは受けない。

本選・・・ 一般公開審査。5名の審査員による公開審査を受け、100点満点の点数採点方式により得点順に第1位入賞、第2位入賞、第3位入賞、そして将来有望な若手に贈られる東北放送奨励賞を決定。

<文部科学大臣賞の位置づけ>

審査により第1位となった演奏者に、当コンクールで最も優れた演奏を行った者として文部科学大臣賞を贈呈。

3. 審査員

本選	◎菅野 潤	(ピアニスト)
〃	◎練木 繁夫	(桐朋学園大学 特任教授)
予選・本選	◎倉戸 テル	(宮城教育大学 教授)
〃	◎庄司 美知子	(仙台中央音楽センター/IVy HALL 主宰)
〃	◎堀江 真理子	(尚美学園大学 名誉教授)

以上